

# 2月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

高村京子議員の2月県議会での一般質問の要旨をお知らせします。  
一般質問、答弁の全文はホームページの「議会の様子」からご覧いただけます。



## ＊ ＊ 国保料の負担軽減と市町村支援について ＊ ＊

**高村** 市町村独自に一般会計等から国保財源に繰り入れている市町村があるがその金額、動向は。

**健康福祉部長** H30年度決算を見ると、一般会計からの法定外繰入は44市町村が実施し、金額は約15億9千万円で、このうち決算補填等の目的のものは8市町村で約9億1千万円となっている。H29年度と比較しどちらもほぼ半減した。

**高村** 国は来年度から、高い保険料の軽減に努めている自治体に対しペナルティーをかけようとしているが、県はどう対応するのか。

**健康福祉部長** 国保の健全な運営は、基本的に国や県からの公費と保険料により医療費をまかなっていくべきで、県としても助言・指導をしていく。

**知事** 保険料の引き下げについて、国庫負担の引き上げ、均等割の負担が重いので配慮が必要と考え、引き続き国に対し粘り強く求めていく。

## ＊ ＊ 不登校支援と多様な学びの場について ＊ ＊

**高村** 小中学校に行けない子どもたちと家族に寄り添うフリースクールなど、多様な居場所や学習支援団体に対し財政的な支援を求める。

**県民文化部長** 来年度はフリースクールの実態の把握を進め、フリースクール関係者や不登校児童とその保護者、学校関係者等から地域の教育資源との連携と充実策について意見交換会を開催し意見を聞く。支援についてはその意見等を踏まえ検討していく。

## ＊ ＊ 男女平等、ジェンダー尊重社会の促進について ＊ ＊

**高村** ジェンダー平等の実現度合いを示す国際ランキングで、日本は121位と過去最低。国際的な比較での現状についての所見と女性活躍促進に向けての取り組みは。

**女性活躍推進監** 女性の政治参加度の低さや、経済分野で管理職に占める女性比率が低いことなどが要因。県として引き続き地域における女性の活躍支援、男女ともに仕事と育児、介護等を両立しやすい環境づくりや女性のキャリア形成の推進に取り組んでいく。

**高村** LGBTなど多様な方々への配慮や理解、共感を広げ、当事者がつらく苦しむことのない環境を具体的につくっていくことが求められる。

**県民文化部長** 県自らが率先して取り組むよう、職員向けのガイドラインを策定している。全県で性的少数者の人権を尊重する機運を熟成し、生きづらさを感じず、誰もが暮らしやすい社会づくりを推進していく。

＊質問を終えて＊

国は国保料値上げを緩和する措置を縮小し、市町村独自の財源補てんにはペナルティーをかけます。低所得、国保世帯いじめです。(怒！)

